

協定

熊本都市圏約100万人の生活用水を保全
地下水かん養量を増やす水田湛水事業の協定を更新

農政課 農政係 ☎(232)4916

白川中流域(菊陽町・大津町)の水田は、他地域に比べ約5〜10倍も水が地下に染み込みやすく、地下水の質や量を育てる「かん養」能力があります。この地下水かん養を増やすため、白川中流域での水田湛水(水張り)事業推進の協定を更新する調印式を行いました。

地下水をつくる

熊本市、菊陽町、大津町と水循環型営農推進協議会が1月27日、白川中流域での水田湛水事業推進の協定を熊本県庁で結びました。蒲島知事立ち会いのもと、幸山熊本市長、家入大津町長、後藤菊陽町長(水循環型営農推進協議会会長)、井手菊陽町副町長が協定書に署名しました。

減反などで畑に転用されている白川中流域の水田を持つ農家が野菜の作付け前後の1〜3カ月間、水を張ることで、地下水のかん養を増やします。水田湛水事業は平成16年から10年間行われてきましたが、今回、その効果が明らかに表れたことから、平成26年4月から平成36年3月までの10年間について新たな協定を結びました。

調印式で後藤町長は「この事業も10年が経ち、当初に比べると協力してくれる企業も増え、今年度は農家



▲水田湛水を推進する協定を結び、固く握手する(左から)幸山熊本市長、後藤菊陽町長(水循環型営農推進協議会会長)、蒲島知事、家入大津町長、井手菊陽町副町長

協定

本社工場を菊陽町に建設
重光産業株式会社と工場立地に関する協定」締結

商工振興課 商工振興係 ☎(232)2165

町は重光産業株式会社と1月23日、菊陽町議会大塚議長立ち会いのもと、「工場立地に関する協定」を締結しました。

ラーメンの「味千」をチェーン展開する同社は、国内に約100店舗、中国やシンガポールなど海外13カ国・地域でフランチャイズチェーン店約700店舗を展開しています。

同社は、菊陽町辛川地内に工場用地約17,000平方メートルを取得。約13億円を投じ、本社工場を移転・建設するもので、麺やスープ、中華点心などの生産体制を強化し、製麺能力を現工場(熊本市東区戸島町)の約3倍に拡大します。

新工場は、一部2階建てで延べ床面積は約4,500平方メートル。4月に着工し、来年2月の操業開始を目指します。

同社代表取締役の重光克昭さんは協定後、「菊陽町の新工場を拠点とし、熊本ラーメンを世界に広げたいと思います」とあいさつ。後藤町長は、「熊本の代表的企業の立地は大変喜ばしく、町の誇りになります。さらなる飛躍と繁栄を期待し



▲重光代表取締役(左)と大塚議長(中)と後藤町長

ます」と期待を込めました。大塚議長は「立地が地域経済の起爆剤になると期待しています。また、屋号の『味千』が示すとおり、フランチャイズチェーン店1,000店舗の早期実現を祈念します」とあいさつしました。

も約2倍に増えた。今後も連携して地下水かん養と水質保全に取り組んでいきたい」と決意を述べました。幸山市長は「地域を越えるこの事業は、約450の農家の協力で年間1,500万トンの地下水をかん養している。今後も量と質の両面対策を強化し、地下水を確実に次の世代に引き継いでいきたい」と力強く述べました。

減農薬・減化学肥料の農産物

白川の河川水はミネラルに富んでいて、転作田では水張りの度に土壌中のミネラルが増えています。地力の増進や線虫の駆除効果、連作障害の抑制も期待されることから、減農薬・減化学肥料の農産物を作ることができそうです。この営農の一つとして行われる湛水を実施する農家に水循環型営農推進協議会(熊本市、菊陽町、大津町、関係土地改良区、JA菊池、JA熊本市)が協力して助成を行います。民間企業の賛同もあり、化血研やJA熊本果実連、(株)内本店、コカ・コーラウエスト(株)が助成金の協力を行っています。また、ソーニーセミコンダクタ(株)も同様の湛水事業を実施しています。

水循環型営農推進協議会は、農家への湛水事業の推進や水管理の指導、環境保全型農業の推進を図り、今後もコスト削減に貢献していきます。

株式会社愛歯 本社工場操業を開始しました

株式会社愛歯は、本社工場と研究開発施設を建設する計画で、平成22年6月に菊陽町原水地内に約2.3ヘクタールの工場用地を取得し、同年8月に町と「工場等立地に関する協定」を締結しました。そして昨年12月に工場と施設が完成し、1月6日から操業を開始しました。

株式会社愛歯は、虫歯や歯周病などの歯の病気で「かめない」「食事ができない」「人前で話せない」といった不自由に苦しむ患者のために、さまざまな入れ歯を作っています。これは単に物をかむだけの道具ではなく、食やコミュニケーションにより健康で豊かな人生を送るためのかけがえのない人工臓器ともいえます。



▲菊陽町原水に本社を移転した株愛歯

問い合わせ
商工振興課 商工振興係 ☎(232)2165

発展する町と共に目標達成へ精進していく

「進歩と調和」を理念として、創業以来35年間、人工臓器としての入れ歯作りを志してきました。同時に「歯科医療を基軸とした経営」のもと、「歯科医療への貢献と全社員の物心両面の幸せ」を目指し続けています。この思いに賛同してくれる人財にも恵まれ、現代の歯科技工技術の全てを提供するため、菊陽町へ本社を移転するに至りました。



代表取締役
高橋昌平さん

歴史的遺産のもと、発展し続ける菊陽町と共にこれからも目標達成へ精進していきます。



キャロッピー



▲にんじんの作付け前に水を張られた菊陽町の水田



▲にんじん畑